

中広中学校だより

平成22年5月28日(金) NO. 5

校訓 清純・平和・希望

学校教育目標・・・「心身ともに健康で、社会に役立つ自主的行動のできる生徒を育成する」

広島市立中広中学校

特集 6月は食育月間です

「衣食足りて、礼節を知る」・・・
残食率にみる中広中学校生徒・・・

昔から語り継がれた諺(ことわざ)には味わい深いものが多いのですが、「衣食足りて、礼節を知る」もそのひとつです。今日、これだけ欲しい物、欲しい食品が手に入り、世界中の料理が手軽に楽しめる社会にありながら、なおかつ、色あせない諺(ことわざ)でもあります。

現代社会は、飽食の時代と言われます。これだけ大量で多種多様な食品がありながら、ひとたび自国(日本)の食料自給率に眼をやると、平成20年度は41%(農林水産省発表:カロリーベースによる)という数字には、誰もが懸念せざるを得ない状況です。

中広中学校は、デリバリー(配達)方式の給食を実施しています。広島市では、1回の給食を完食(全部食べた場合のこと)したとして、830キロカロリーを摂取基準としています。この数字は、育ち盛りの中学生が必要だとされる1日の摂取カロリーのほぼ1/3がとれるように計算してある数値です。

裏面の資料「デリバリー中学校における給食残食率について」をご覧ください。この表から、中広中学校の生徒は、主食(ごはんやパン)はもちろんのこと、副食(おかず等)も含めて広島市全体と比較して本当によく食べていることが良く分かります。平成21年度(昨年度)は月の統計で、1回も広島市の平均残食率を上回ったことはありません。このことは、素晴らしいことです。ぜひ、各ご家庭でもお子さんの様子を聞いていただき、ほめてあげてください。

中広中学校の生徒は、「衣食」が足りているということですから、あとは「礼節」です。人を思いやる・時間を守る・約束を守る・あいさつができる・掃除をきちんとやるなどなど、これからは大いに楽しみます。



☆ ご心配いりません

4月20日以降、九州宮崎県の農場で飼養されている牛・豚などについて、家畜や野生動物が感染する病気である口蹄疫(こうていえき)への広範囲な感染が報道されていますが、以下の日付で関係庁より通知がきておりますので要旨を知らせします。

発出機関・庁

⇒ 消費者庁(5月17日付)・食品安全委員会(4月28日付)・農林水産省(5月6日付)・文部科学省(5月20日付)

- ① 感染が疑われるとの報告があった時点で家畜の移動が自粛されており、口蹄疫にかかった家畜の肉や牛乳が市場に出回ることはありません。
- ② 口蹄疫は偶蹄類の家畜(牛・豚・山羊・水牛など)や野生生物(シカやラクダなど)が感染する

裏面に続く ⇒

病気であり、人が感染することはない、牛肉や豚肉を食べたり牛乳を飲んだりしても人体に悪影響はありません。

- ③ 安全上の問題はなく、飲食店・小売店において「宮崎県産の牛肉は使用していません」との表示を行うなど、消費者に根拠のない不安を与えることがないように、適切な配慮をお願いします。
- こうした通知からもお分かりのように、学校給食における食材はもちろん、市場には感染が心配される商品自体が流通していませんのでご安心下さい。関係機関では、現在懸命な対応が展開されています。1日も早い解決と収束を待ちたいと思います。

資料 (提供：広島市教育委員会)